

## 県政懇談会「岩手フロンティア懇談会」出席者名簿

日時：平成19年9月25日（火）10:00～11:30

場所：久慈地区合同庁舎 6階 大会議室

No.	氏名	所 属	職
1	いわもと 岩本 明佳	株式会社岩本電機	代表取締役社長
2	おのでら 小野寺 敬作	いわてくじ農業協同組合	代表理事組合長
3	すごう 菅生 周一	福祉工場カナン牧場	施設長
4	のなか 野中 元栄	株式会社十文字チキンカンパニー	専務取締役
5	みなみはば 南幅 直実	浄法寺漆認証制度検討委員会	委員
6	もりおく 森奥 のぶたか 信孝	岩手モリヤ株式会社	代表取締役社長

県政懇談会「岩手フロンティア懇談会」

# 懇談資料

日時 平成19年9月25日(火) 10:00～11:30

場所 久慈地区合同庁舎 6階 大会議室

## 【県政運営の基本戦略について】

- 1 岩手が直面する危機と取り巻く環境の変化
- 2 二大戦略の展開

(新地域主義戦略)

(岩手ソフトパワー戦略)

# 1 岩手が直面する危機と取り巻く環境の変化

## (岩手が直面する危機)

### ○全国に比べ回復が遅れている県民所得・雇用情勢

- ・1人当たり県民所得はH13に前年比7.7%減(全国3.0%減)、H17はH12比90.7%(全国98.2%)
- ・H18の有効求人倍率は0.78倍(全国1.06倍)

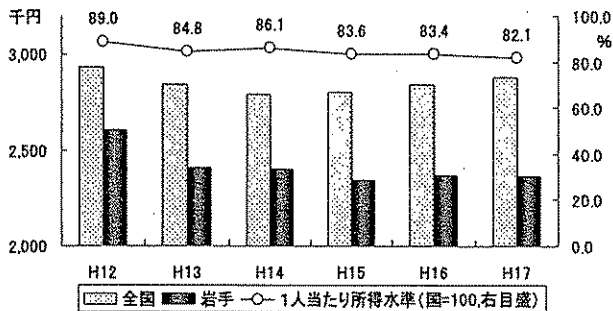
### ○歯止めがかからない人口流出

- ・県外への転出者数はほぼ横ばいで推移しているが、県外からの転入者数が減少
- ・特に20歳～24歳において転入者数の減少が拡大

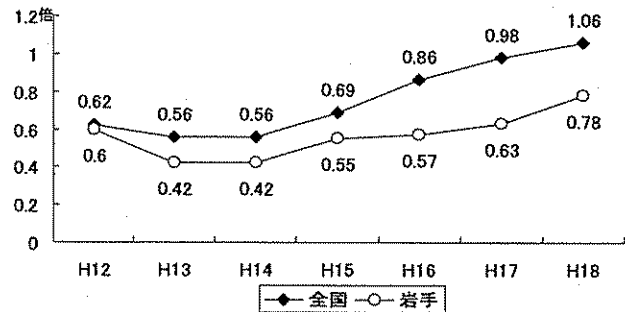
### ○増加しているものの全国との格差が拡大する医師数

- ・人口10万人当たりの医師数は179.1人と増加しているが、全国との格差は拡大

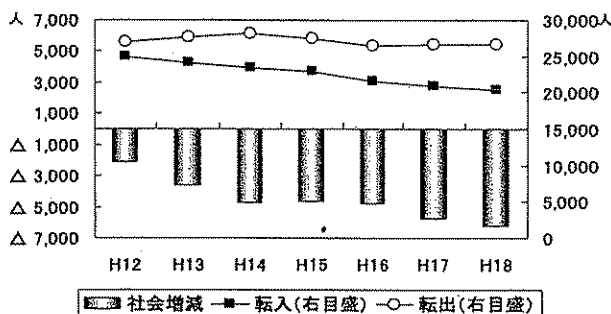
【1人あたり県民所得と国民所得の推移】



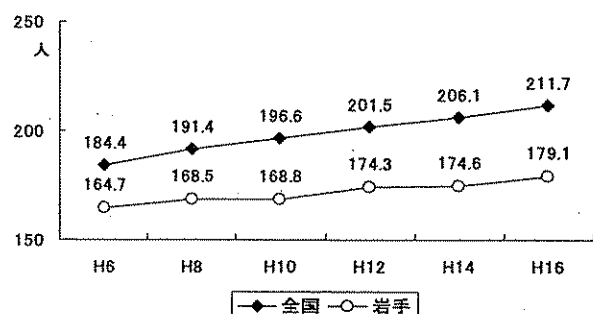
【全国と岩手との有効求人倍率の推移】



【本県人口の社会増減の推移】



【人口10万人当たりの医師数】



## (本県を取り巻く環境の変化)

### ○グローバル化の急速な進展

- ◇グローバル化は、脅威である一方、得意分野が世界に直結し、地域の価値を高めていく好機。
- ◇「世界の中の岩手」といった観点を強く意識しながら、グローバル化の進展に適切に対応していく必要。

「新地域主義戦略」と「岩手ソフトパワー戦略」の2つの戦略の展開

## 2 二大戦略の展開

- グローバル化の中で、世界と直結し、競争・共存しながら、これまで以上に岩手の特性を活かし世界市場の中で競争力を高めていくことが重要。
- また、一方においては、お互いに助け合い、地域や住民の暮らしを守り、自立した特色ある地域として発展していくことが重要。

### (新地域主義戦略)

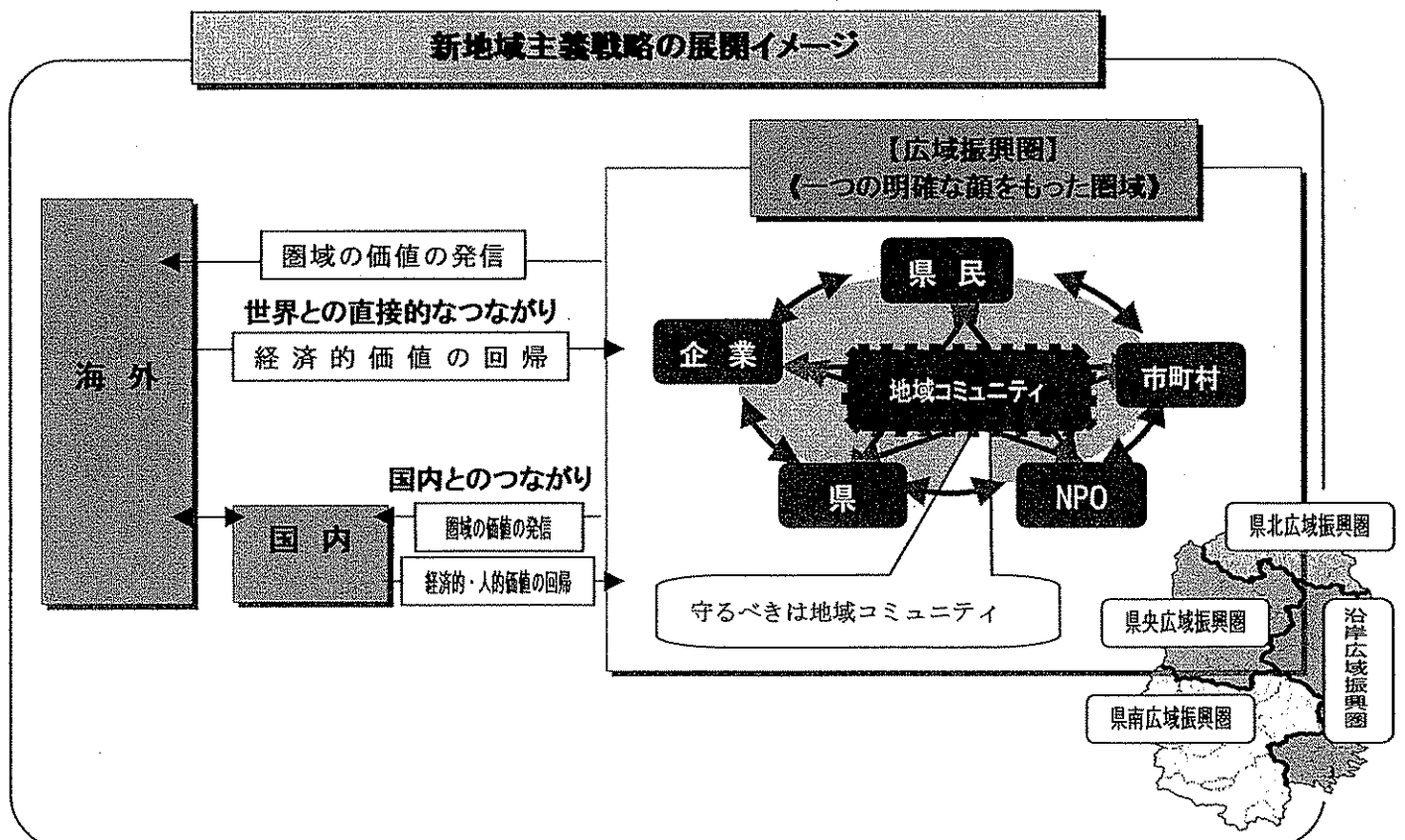
- 住民に身近な基礎自治体である市町村の体質を充実強化



- その上で、より広域的な視点で地域特性を最大限発揮しながら、4広域振興圏が、国内外と直接的につながり、自立していく取組みを展開  
→一つの明確な顔をもった自立した特色ある圏域として進化



- 同時に、地域で安心して共に暮らしていくことのできるよう、市町村と協力しながら、生活の原点、拠り所である地域コミュニティを支援  
→内外からの評価などにより地域への誇り、コミュニティへの帰属意識の高まりを期待



## (岩手ソフトパワー戦略)

◆ 「ソフトパワー」: 文化的魅力と道義的信頼によって相手を動かす力。

○ 平泉文化など、本県の持つ普遍的価値(自然・文化・県民のまじめさ等)を源泉とした魅力を地域発の商品・サービスと結びつけ「岩手ブランド」として発信



○ 国内外からの高い評価や信頼を獲得



○ ブランドとしての新たな価値を付加し、外貨獲得や雇用創出など地域産業の振興や県民所得の向上といった経済的な効果を期待

地域に対する誇りや心豊かに暮らすことのできる満足感、地域への帰属意識などを高める効果も期待 → さらなる普遍的価値の高まり



○ (例) 県民が伝統芸能や祭りといった地域活動への参加の広がり(サイクルとしてパワーを増大する戦略)

